

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山県、岡山県小田郡矢掛町	地域再生計画名	矢掛・井原の人が行き交う元気な地域づくり計画
計画期間	平成30年度～令和6年度	評価責任者	矢掛町役場建設課課長 岡山県井笠地域事務所地域農林水産事業部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	矢掛町及び井原市の主要観光施設の年間観光入込客数の増加	751千人	H28	803千人	R3	459千人	826千人	R6	×	3	1	中間目標値を約344千人下回っているが、コロナによる観光入込客の減少によるものであるため、引き続き最終目標値の達成を目指していく。
	指標2	矢掛町主要施設における井原市民利用者数の増加	149人	H28	156人	R3	80人	163人	R6	×	3	1	中間目標値を下回っているが、コロナによる利用者の減少によるものであるため、引き続き最終目標値の達成を目指していく。
	指標3	井原市における新規就農者数の増加	6人	H28	30人	R3	34人	42人	R6	○			中間目標値は達成しており、引き続き最終目標値の達成を目指していく。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度（R2）	最終実績見込み								
	町道	運動公園線	0.25km	0.00km	0.25km	用地交渉が難航しており、整備の完成に不測の日数を要している。町道事業の期間を延長し、計画期間内での整備を目指していく。							
	広域農道	井原芳井地区	2.11km	0.00km	2.11km	土質が不良で法面対策工等の見直しにより土工事が難航し、進捗が大きく遅れている。現時点では未供用のため事業効果の発現が見られないが、引き続き事業を継続し早期供用開始を図る。							
その他の事業	道の駅山陽道やかげ宿整備事業		道の駅から中心市街地への導線となる町道及び地域振興施設の整備		令和2年度に、道の駅「山陽道やかげ宿」が開業した。来場者数は、開業から4カ月後の令和3年7月には10万人、令和3年度中には24万人を達成するなど多くの人が訪れている。道の駅は新たな観光施設であると同時に矢掛商店街への玄関口としての役割を担っており、中心市街地に賑わいをもたらしめている。令和2年度には、町道本陣通り線の無電柱化も完了し、矢掛商店街の歴史的な景観が向上した。								
	広域観光連携事業		広域的な観光ツアーの開発、観光PR、観光パンフレットの作成		井笠地域観光協会では、コロナウイルスの影響を受けてテイクアウトに取り組んでいる飲食店のPRを行うため、「井笠地域テイクアウトGuide Book」を発行している。また、スタンプラリーやフォトコンテストなど、観光客に井笠地域の広域を訪れてもらえるようなイベントを企画している。								
	農業体験施設「水車の里フルーツピア」指定管理委託事業		新商品開発、収穫体験等、町外からの利用者の増やす取り組みを行う		水車の里フルーツピアは、平成25年4月から、株式会社エンジョイファームによる指定管理を行っている。新商品の開発や果物・野菜の収穫体験の実施など、農業振興の拠点としての役割に加え、バーベキュー施設やカフェ施設、アスレチック設備などの整備、定期的なイベントの開催などにより、若年層やファミリー層、町外からの利用者を増加させることに成功しており、集客力のある施設となっている。								
	矢掛町総合運動公園指定管理委託事業		各種スポーツ教室やイベントを企画し、町内外から多くの利用者を迎える		矢掛町総合運動公園は、平成28年4月から、特定非営利活動法人やかげスポーツクラブによる指定管理を行っている。充実した設備があり、幅広い年齢の人が楽しめる施設であるため、町内外から多くの利用者がある。近年はコロナ禍の中、計画していた教室・大会の多くが中止を余儀なくされているが、感染対策を行い、可能な範囲で事業を実施している。								
	農業生産基盤と農村生活環境の整備		農山漁村地域整備交付金、農地中間管理事業などを活用し、整備を行う		農山漁村地域整備交付金を活用した中山間地域総合整備事業 井原地区が完了している。また、中山間地域総合整備事業 矢掛地区についても事業完了に向け基盤整備を行っているところである。								
	新規就農者支援事業		移住支援、就農支援		ぶどう栽培の担い手となる農業実務研修生を毎年受け入れ、新規就農に向けた支援を行っている。また、矢掛町では、住宅団地の分譲や定住促進助成金、空き家改修補助金、町営の賃貸住宅等による移住支援や相談窓口等による就農支援を継続して行い、新規就農者を支援している。								
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	事業主体及び第三者による中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	岡山県、矢掛町のホームページ												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と広域農道整備を一体的に整備することにより、市町間の道路ネットワークが再編され、主要観光施設への集客や農産物の物流機能の強化を図るとともに、市町間の地域交流による生産物の相互供給や広域圏での加工品の開発など6次産業化による雇用創出や所得向上など、地域の活性化を図ることを目的としている。コロナの影響により、観光施設への集客や地域間交流等で目標達成に至っていないが、少しでも観光入込客等が増加するよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					計画上の道路整備を行うことで、目標が達成されると見込んでいるが、広域農道施工箇所の土質不良に伴う法面対策等の検討が必要となり、事業費の見直しを行う見込み。また、町道事業において、一部用地交渉が難航していることから、町道事業の事業期間の延長を行う。							
⑦今後の方針等に対する対応	令和5年度予算要望額への反映（有・無）					有りの場合の増減額 千円							
	今後も引き続き道路整備による地域間ネットワークの整備は必要である。事業実施に伴う効果がコロナの影響で現時点では判断できない状況であるが、地域の豊富な観光資源を道路網でネットワーク化することにより、観光客の掘り起こしを進め、地域の雇用創設と関係人口を目指す。												